

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第120期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 田岡化学工業株式会社

【英訳名】 TAOKA CHEMICAL COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 取締役社長 佐藤 良

【本店の所在の場所】 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

【電話番号】 06(6394)1221代表

【事務連絡者氏名】 事業支援室部長 勝本 泰仁

【最寄りの連絡場所】 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

【電話番号】 06(6394)1221代表

【事務連絡者氏名】 事業支援室部長 勝本 泰仁

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第119期 第1四半期 連結累計期間	第120期 第1四半期 連結累計期間	第119期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	5,588,971	5,715,205	24,457,572
経常利益 (千円)	584,582	310,983	2,582,165
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	422,568	211,803	1,819,658
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	435,017	206,612	1,829,301
純資産額 (千円)	10,136,294	11,448,351	11,414,063
総資産額 (千円)	20,652,040	21,989,823	22,838,746
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	147.38	73.89	634.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.1	52.1	50.0

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は記載しておりません。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は57億15百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて1億26百万円の増収となりました。

損益面におきましては、大型連休を利用した老朽更新工事等を行ったことによる稼働日数減少ならびに補修費増加の影響や原料価格の下落に伴う棚卸資産低価法の適用により営業利益は2億98百万円（前年同四半期比2億70百万円減）、経常利益は3億10百万円（同2億73百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億11百万円（同2億10百万円減）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第1四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	2,787	49.9	2,874	50.3	86	3.1
機能材部門	973	17.4	854	15.0	119	12.3
機能樹脂部門	565	10.1	715	12.5	149	26.5
化成品部門	1,142	20.5	1,154	20.2	12	1.1
化学工業セグメント	5,469	97.9	5,598	98.0	129	2.4
その他	119	2.1	116	2.0	3	2.9
合 計	5,588	100.0	5,715	100.0	126	2.3

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、55億98百万円となり、前年同四半期と比べて1億29百万円の増収となりました。

（精密化学品部門）

農薬中間体は、出荷時期が第2四半期会計期間以降になったことから前年同四半期に比べ減少しましたが、医薬中間体や樹脂原料は旺盛な需要により増加し、売上高は28億74百万円となり、前年同四半期と比べて86百万円の増収となりました。

（機能材部門）

接着剤は微増となりましたが、ゴム薬品の輸出が減少し、売上高は8億54百万円となり、前年同四半期と比べて1億19百万円の減収となりました。

（機能樹脂部門）

紙用加工樹脂はほぼ前年並みとなりましたが、前年第2四半期会計期間に完成いたしました機能樹脂製造設備の高稼働に伴いワニスの出荷数量が増加したため、売上高は7億15百万円となり、前年同四半期と比べて1億49百万円の増収となりました。

（化成品部門）

可塑剤・その他化成品ともに出荷は堅調に推移したため、売上高は11億54百万円となり、前年同四半期と比べて12百万円の増収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌調査が増加したものの、排ガス測定や石綿分析が減少したため1億16百万円となり、前年同四半期と比べて3百万円の減収となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて8億92百万円減少し、114億85百万円となりました。これは、主として法人税等の納付等により現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、主として製造設備・機器の老朽更新工事等を積極的に行った結果、前連結会計年度末と比べて43百万円増加し、105億4百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産額は219億89百万円となり、前連結会計年度末と比べて8億48百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、その他流動負債に含まれる設備関係債務は増加したものの、主として、未払法人税等の納付による減少や支払手形及び買掛金や賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比べて8億52百万円減少し、70億12百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて30百万円減少し、35億29百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済を行ったことによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて8億83百万円減少し、105億41百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて34百万円増加し、114億48百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた問題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は1億89百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,888,000	2,888,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	2,888,000	2,888,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日	-	2,888	-	1,572,000	-	1,008,755

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,855,100	28,551	-
単元未満株式	普通株式 11,600	-	-
発行済株式総数	2,888,000	-	-
総株主の議決権	-	28,551	-

(注) 1 「単元未満株式」の株式数には当社所有の自己株式12株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数割合(%)
(自己保有株式) 田岡化学工業株式会社	大阪市淀川区西三国 四丁目2番11号	21,300	-	21,300	0.74
計	-	21,300	-	21,300	0.74

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,320,167	514,620
受取手形及び売掛金	5,187,145	5,145,662
商品及び製品	3,675,469	3,516,725
仕掛品	94,147	151,051
原材料及び貯蔵品	1,891,779	1,984,982
その他	208,748	172,331
貸倒引当金	51	43
流動資産合計	12,377,406	11,485,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,309,207	8,378,814
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,312,821	5,358,930
建物及び構築物(純額)	2,996,386	3,019,883
機械装置及び運搬具	21,938,107	22,157,504
減価償却累計額及び減損損失累計額	17,613,041	17,710,101
機械装置及び運搬具(純額)	4,325,066	4,447,403
その他	3,522,637	3,539,249
減価償却累計額及び減損損失累計額	1,613,296	1,634,069
その他(純額)	1,909,340	1,905,180
有形固定資産合計	9,230,792	9,372,467
無形固定資産	38,964	42,577
投資その他の資産		
その他	1,192,282	1,090,149
貸倒引当金	700	700
投資その他の資産合計	1,191,582	1,089,449
固定資産合計	10,461,339	10,504,494
資産合計	22,838,746	21,989,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,804,999	4,245,731
短期借入金	-	150,000
1年内返済予定の長期借入金	345,000	300,000
未払法人税等	552,396	4,933
賞与引当金	451,342	218,300
その他	1,710,858	2,093,252
流動負債合計	7,864,597	7,012,217
固定負債		
長期借入金	855,495	778,895
退職給付に係る負債	2,487,625	2,523,883
その他	216,965	226,477
固定負債合計	3,560,085	3,529,255
負債合計	11,424,682	10,541,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	8,803,724	8,843,526
自己株式	30,664	30,987
株主資本合計	11,353,815	11,393,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,951	42,562
為替換算調整勘定	16,152	15,153
退職給付に係る調整累計額	3,857	2,659
その他の包括利益累計額合計	60,247	55,056
純資産合計	11,414,063	11,448,351
負債純資産合計	22,838,746	21,989,823

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,588,971	5,715,205
売上原価	4,268,599	4,672,520
売上総利益	1,320,371	1,042,685
販売費及び一般管理費	752,014	744,487
営業利益	568,357	298,197
営業外収益		
受取利息	226	178
受取配当金	13,952	15,016
その他	6,503	4,179
営業外収益合計	20,682	19,374
営業外費用		
支払利息	1,857	1,299
為替差損	2,336	5,037
その他	263	250
営業外費用合計	4,457	6,588
経常利益	584,582	310,983
特別損失		
固定資産除却損	3,929	4,211
特別損失合計	3,929	4,211
税金等調整前四半期純利益	580,653	306,772
法人税、住民税及び事業税	93,098	3,512
法人税等調整額	64,986	91,456
法人税等合計	158,084	94,968
四半期純利益	422,568	211,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	422,568	211,803

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	422,568	211,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,337	5,389
為替換算調整勘定	1,185	999
退職給付に係る調整額	8,926	1,197
その他の包括利益合計	12,449	5,191
四半期包括利益	435,017	206,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435,017	206,612
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰延べております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形および期日現金決済(手形と同条件で手形期日に現金決済する方式)の会計処理については、手形交換日または期日現金決済日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形及び売掛金	638,584千円	696,500千円
支払手形及び買掛金	480,647千円	417,136千円
その他(流動負債)	65,312千円	40,463千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	328,200千円	353,103千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月10日 取締役会	普通株式	114,687	40.00	2018年3月31日	2018年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月9日 取締役会	普通株式	172,001	60.00	2019年3月31日	2019年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,469,100	119,870	5,588,971	-	5,588,971
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	11,930	11,930	11,930	-
計	5,469,100	131,800	5,600,901	11,930	5,588,971
セグメント利益	558,131	9,190	567,322	1,035	568,357

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業であります。
 2 セグメント利益の調整額1,035千円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額であります。
 3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,598,812	116,392	5,715,205	-	5,715,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	16,818	16,818	16,818	-
計	5,598,812	133,210	5,732,023	16,818	5,715,205
セグメント利益	286,406	11,664	298,070	127	298,197

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業であります。
 2 セグメント利益の調整額127千円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額であります。
 3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	147円38銭	73円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	422,568	211,803
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	422,568	211,803
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,867	2,866

(注) 潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第119期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)期末配当については、2019年5月9日開催の取締役会において、次のとおり期末配当を行うことを決議し、配当を行っております。

配当金の総額	172,001千円
1株当たりの金額	60円
支払請求権の効力発生日および支払開始日	2019年6月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

田岡化学工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松 本	学 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	東 浦	隆 晴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田岡化学工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田岡化学工業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。